

①発表タイトル:

留学生は日本語学習に潜むステレオタイプをどう捉えているか

How Do International Students See Stereotypes Hidden in Japanese Language Learning?

②発表者氏名:

中川康弘 (NAKAGAWA Yasuhiro)

③発表内容:

外国語学習では、時に情報のステレオタイプが問題視される。日本語も例外ではなく、教材を中心に議論がなされてきた。熊谷 (2008) は『げんき』に潜むステレオタイプに触れることの重要性を説いた。杉森 (2015) は、同教材に潜むジェンダー観や欧米人／アジア人の役割の違いについての学生の受容度合いに着目し、多様な意見を得つつも、問題を前提とする質問形式や対面調査ゆえの力関係の影響等を課題とした。

そこで本研究では、主に欧米系留学生が『みんなの日本語』のステレオタイプをどう捉えたか、自由記述アンケートを軸に調査を試みた。

結果、個人差はあったが、ステレオタイプに気づきつつ、情報を取捨選択し学習に勤しむ意見が見られた。よって成人の場合、ステレオタイプと批判精神の過度な強調は学習、及び学習者自身に負の影響を与えかねない面が考えられることから、学習状況に応じて議論の対象とするのが望ましいという結論に至った。

(392 字)

④応募者所属:

中央大学 (Chuo University)